

東電 福島第一原発事故の教訓と 東電 柏崎刈羽原発の再稼働

再稼働の動きが強まっている今だからこそ、あらためて考えてみませんか

【お話しする人たち ~プロフィール~】

福島原発の過去・現在・未来と向き合う 松谷彰夫さん

宝鏡寺住職だった故早川篤雄さんらと、公害問題の取り組みから「第二原発許可処分取消訴訟」原告へ。そして第一原発事故後は『裁判は子孫への伝言』という言葉に胸に「生業訴訟」の原告へ。「静かなる壮絶というべき半世紀の闘い」(安斎郁郎)を、松谷さんは語ります。

生活分科会座長として原発事故を検証 松井克浩さん

社会学が専門。新潟県の「三つの検証委員会」の検証総括委員も務める。昨年11月県が長岡市で開いた住民説明会で「原発事故による生活への影響は取り返しのつかない過酷なものという事実を繰り返し突きつけられた」「県民には自分事として考えてほしい」と話し、参加者の心を打つ。

**樋口英明元福井地裁
裁判長の言葉**
「原発は発電手段の一つに過ぎないのに生命と生活を賭けるのか」

**地球科学の専門家
300人が声明**
「地殻変動が活発な日本では、地層深くに埋める地層処分は不可能で、従来の政策を再検討すべきだ」

NHK「あさイチ」でも
「溶け落ちた核燃料デブリ。880tもあるのに、まだ1gも取り出せていない。2051年までに終了するには、毎日85kg取り出さないといけない。」

福島を訪ねて
橋や箱物建設が進む一方、時が止まったままの町や広大な更地、放射能の数値が高い地域もあり、安心して住める環境が戻ったとは言えないと強く実感。(S)

原
発
あ
れ
こ
れ

11月のアオーレ前 署名・宣伝11日行動は 11/11(土) | 2時から
12月のアオーレ前 署名・宣伝11日行動は 12/11(月) | 6時から **ご参加を!**

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第140号 2023年11月6日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707

原発ゼロ長岡市民ネット結成12周年
原発再稼働を考える市民の集い
☆十一月十八日(土) 午後2時
☆長岡市立中央図書館・講堂

◇原発から30km圏内の長岡市民にとって無関係ではられない再稼働問題。
お誘い合わせてぜひご参加ください。
*入場無料 *会場ではマスクをご着用ください。

